

希望のまち 鹿角を後世に

鹿角市議会議長 中山一男



明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、新春を健やかに迎え、心からお慶び申し上げますとともに、日ごろから市議会に對しまして、貴重なご意見やご提言を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、収束の兆しが見えないコロナ禍にあつて、国内では「東京オリンピック・パラリンピック」が開催され、私たちに多くの勇気と感動を与えてくれました。本市においては、長年にわたる悲願が実り、大湯環状列石を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されたことは、大変喜ばしい出来事でありました。市議会としても、登録の実現に向けて取り組んできた活動が報われたものであり、感慨深いものがありました。

今後は、世界文化遺産登録を契機に、本市の豊かな自然だけでなく、花輪ばやしや大日堂舞楽、毛馬内盆踊りなどの伝統文化の魅力を国内外に広く周知するとともに、次世代に引き継ぐことができるよう、行政とともに力を合わせ、取り組んでまいります。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、今なお厳しい経済情勢が続いておりますが、昨年4月には、観光拠点である鹿角観光ふるさと館道の駅かつのあんたらあ」のリニューアルや、中心市街地中核ホテル「感動！鹿角パークホテル」のグランドオープンな

ど、日常生活を徐々に取り戻しつつある中で、今後ますますの誘客強化と、地域経済の活性化が図られるよう努めてまいります。

さて、本市では、「第7次鹿角市総合計画」が昨年4月からスタートし、将来都市像「ふるさとを誇り未来を拓くまち 鹿角」の実現に向けて、社会の変化に対応しながら、人、自然、産業、歴史文化などの地域資源を生かしながら、住み続けたいと思える持続可能なまちづくりが進められております。

市議会といたしましても、コロナ禍の早期収束と、市民生活の安定および地域経済の発展、さらには新総合計画の実効性を一層高めていくため、行政とともに全力で取り組む所存であります。また、市民の皆さまの声を市政に反映させる役割を果たすためにも、積極的に政策提言を行い、市民が安全で安心して暮らせる活力のあるまちづくりの実現に向けて、邁進してまいります。

結びとなりますが、今年の干支の「寅」のごとく、スピード感をもって力強く物事の現実に努めてまいりますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、皆さまのご多幸と、本市のさらなる発展を祈念しつつ、年頭の挨拶といたします。

市民の思いが 届くまちづくりを

鹿角市長 関厚



明けましておめでとうございます。皆さまには、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、大湯環状列石を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されたことは、大変名誉なことでありました。登録の効果を一過性のものとせず、大日堂舞楽花輪ばやしなどとあわせ、本市が有する貴重な文化遺産を地域の活性化に役立ててまいります。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、鹿角地域においても、飲食・観光業を中心とした経済活動の停滞のほか、多くの行事が中止や規模縮小を余儀なくされるなど、皆さまも大変ご難儀をされたこととおもいます。こうした中、本市のワクチン接種が順調に進みましたが、医療従事者をはじめ、接種事業にたずさわっていただきました関係者各位、また皆さまのご協力によるものと、あらためて感謝申し上げます。今後は、3回目の接種に向け準備を進め、感染対策を継続しながら地域経済を盛り上げてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

昨年7月から市政を引き継ぎ、約半年が過ぎようとしておりますが、「市民との対話、鹿角の力を結集」を基本姿勢に据え、「市政」「産業・経済」「医療・福祉」「教育・共同」「自然・文化」という5つにまとめたビジョンを掲げております。市政の推進にあたっては、策定の過程で皆さまのご意見が反映された第7次鹿角市総合計画との調和を図りながら、公約の実現を目指してまいります。

特に、まちづくりについて意見を交わす「いつでも市長室」は、私の公約の中にある市民との対話・交流を盛んにし、透明で活力ある市政を実現するため、広くご意見を伺い、地域の活性化につながる方策を検討する貴重な機会と捉えておりますので、引き続き、皆さまのアイデアをお聞かせいただければとおもいます。

さて、来月には、花輪スキー場を会場に、国体（第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会）とインカレ（第95回全日本学生スキー選手権大会）が開催されます。全国から参加される選手・役員を温かく迎えるため、関係機関と連携しながら、安心して安全な大会の開催に向けて準備を進めてまいります。

そして今年には、鹿角市市制施行50周年を迎えます。この記念すべき節目の年を皆さまと一緒に祝いとともに、本市のさらなる発展の契機とするため、「ありがとう50年」ともに未来へをテーマに、市民の一体感を高め、市の魅力の再発見につながる、地域の賑わいを創出する事業などを実施してまいります。

本市の持続的な発展と、若者たちの夢や希望を叶えるため、市民と対話を重ね、豊かな自然と伝統文化を生かした品格と風格のあるまちづくりを進めてまいりますので、今後とも、皆さまの市政への積極的な参画をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして、健やかで、実り多い年であることを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。